

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	812	施策	公共施設の最適化
管理事業	資産経営事業	所管部局	都市計画部

1	所管 室課	資産経営室	事業名	資産経営事業	
事業概要					
市有建築施設管理、公共施設最適化推進、固定資産台帳管理					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■
(1) 市有建築施設管理事業 技術職員の恒常的な時間外勤務の縮減を図るため、技術職員の担当業務のうち、技能的に高度な専門知識を必要としない、設計図面をCADによりデータ化する業務をCADオペレーターが担うことにより、業務の効率化を図った。 ・令和元年度・・・勤務時間 2,145時間 令和2年度・・・勤務時間 1,275時間 令和3年度・・・勤務時間 1,221時間 (2) 公共施設最適化推進事業 ・公共施設の計画的な維持管理や、複合化、集約化、長寿命化等の取組を推進するため、一般建築物についての個別施設計画を策定した。(令和2年度策定) ・公共施設の維持管理・更新等を着実に推進するための計画として平成28年度に策定した公共施設総合管理計画について改訂を行った。(令和3年度改訂) (3) 固定資産台帳管理事業 ・本市が所有する土地面積 行政財産 令和元年度・・・3,330,785.65㎡ 令和2年度・・・3,350,906.25㎡ 令和3年度・・・3,352,949.36㎡ 普通財産 令和元年度・・・140,816.44㎡ 令和2年度・・・135,852.78㎡ 令和3年度・・・135,851.68㎡		決算額 (千円)	19,738	10,954	
		一般財源の比率 (%)	100.0	100.0	
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			
		吹田市公共施設（一般建築物）個別施設計画に基づき、施設の老朽化対策や維持保全を進めるにあたり、膨大となる設計業務の負担軽減を実施しつつ、計画的な公共施設の維持管理等が推進されるよう、継続的に取り組んでいく必要がある。 公会計財務諸表の固定資産データについては、今後は事業評価及び公共施設最適化の判断指標として活用していく取組が必要である。また、透明性を高め説明責任を果たすためホームページにて公表することを検討する。			
		今後の実施計画の方向性・内容			
		継続			

	所管 室課		事業名		
事業概要					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額（千円）			※課題があるものは■
		一般財源の比率（％）			☐ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性
					☐ 効率性
					☐ 公平性
			☐ 持続可能性		
			今後の実施計画の方向性・内容		

	所管 室課		事業名		
事業概要					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額（千円）			※課題があるものは■
		一般財源の比率（％）			☐ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
					今後の実施計画の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
資産経営室	土地開発基金繰出金事業		